

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.159

2015年6月15日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

子どもどうしの関わりを大切に！

障害児教育部会授業研究会 開催

研究所障害児教育部会が、伊丹市の小学校において5年生の授業を参観しました。

授業は、5校時が家庭科の「かがりぬいをしよう」、6校時が体育の「ベースボール型ゲーム」でした。このクラスでは特別支援学級のAさんも一緒に学習しており、Aさんと子どもたちの関わりも参観することができました。

全体を通して、クラスの子どもたちは、Aさんに積極的であたたかな関わり方をしており、一緒に学習しようとする姿が伝わってきます。

家庭科では、教員の手助けを受けながらもかがりぬいをおこないました。体育では、同じチームの子どもが一緒にバットを振ることで打つことができました。この日は気温が高く、担任の判断で熱中症対策として一度日陰に入ったのですが、Aさんはみんなと一緒にやりたいととても悔しがっていました。

授業後の研究協議では、「子どもどうしの関わりがすばらしかった」「Aさんとともに授業を楽しんでいた」などの意見が多く見られました。一方で「Aさんにだけでなく、バットで打つことが苦手な子どもに対しても、手助けは必要ないのか?」「Aさんへの関わりと同様に、学級のみんなも助け合えるようにしたい」等の意見が出ました。

最後に、共同研究者は、「子どもどうしの関わりを大切にしたいすばらしい授業だった。介助員や担任がAさんから少し離れることで子どもどうしの関わりが増えていたように思う。子どもたちにとってちょうどよい距離だった。Aさんとの関わりと同様に、誰もが助け合えるような仲間づくりをしてほしい」と締めくくりました。

参加者一同が、子どもどうしの関わりと教員の役割の大切さを改めて感じた授業研究会となりました。

